（明治四十一年二月二十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十三年二月四日（金曜日）　第三百廿六號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城南署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題（七）

旅仁川　山下南海

地理的關係の點に於て風土氣候の緩和なるの點に於て韓民の習俗嗜好が帝國民と相似たるの點に於て就中韓民文明の程度が帝國民に對照し頗る劣等なるの點に於て韓國は帝國民絶好の殖民地たり、若し夫れ韓國が政治的幾多の大經營を要求する邦國なる乎、亦た韓民が漢國人の如く高き文明を有する國民なりとせば其殖民や素より容易の業に非ずと雖も、如斯き故障の存まらざるは帝國民に取りて天與の殖民地と謂はざるべからず、或は祖國の人口稠密にして之を分離する事が内地の企業界に大なる影響を波及し、延びて一國の生産力を阻害するが如き危懼あるに於ては、道は感意味に於て國民の喪失とも目し得べきが故に國家として大なる苦痛ならんも、幸ひにして我日本帝國は累年人口の增殖著しく過剩人口を拂泄するの適地を求むるに非ざれば經濟上の分配を維持し能はざるの狀態に陷る、よし之を自然に放任したればとて早晩域外に溢出せんも既に韓國に對する宗主權を獲得し南滿州を擧げて勢力範圍となせる以上、政治的經濟的の所持を念とし集中殖民の効果を收むべきは憂國の士の常に囑望する所なり今や韓國に於ける帝國民は累年其數を增加し約十六万を算するに到りしは比較的大なる發展と謂はざるべからず。

雜報

亂民處分の方針

（松井警務局長の談）

平安南道順川に於ける今回の暴亂は當局に於ても決して之を尋常一般の變事として閑却せず元來該地方は排日熱最も熾んにして民心の兇惡獰猛なる實に驚くべきものあり且つ新政と言へば必ず反抗するは保護政治成立以前に於て屢々遭遇せる事實にして現に往年新税付課に反抗し時の當局者を逡巡せしめ遂に課税を免れたる例あり思ふに今回の暴亂の如きも如上特有性の爆發なるが又一は免税の味を占めたる結果なるべし故に今後とても斯かる反抗の續出を保すべからずを以て彼等に對しては充分其所因を探究し再び其變事を演出せざる樣嚴重なる威壓を加へ禍根を永遠に根絶せざるべからず現に新政反抗の傾向は該地のみならず安川、肅川、順川、寧邊、博川、定州、揚市等の各地に於ても屢々現示し居れるが如し而して今回の暴亂に就ては煽動者教唆者實行者附和雷同者に渉り居るべければ充分其系統を調査し嚴罰以て彼等に臨まんと欲す云々

亂民と武裝行政

順川亂民の一揆は一般民心に非常の感動を與へたるものゝ如く現に警報一たび漢城の政界に達するや各政社非政社の面々は何れも愼重の注意を拂ひ其成行を觀望し居れり蓋し是れ韓國特有暴徒の類に非ずして全く地方良民の群聚せるものなれば此現象は少くとも新政反抗の徵候と見るを得べく延て我が保護政治の危機を誘起するの虞あればなり元來黃海道以西北の民心は兎角叛逆心を有し十三道中最も難治の民と稱せらる而して常に新政に逆行し頗る危險の狀態にあるは當該官憲と雖も之を否認する能はざる程なり故に今回の變事は日韓關係上苟くも輕視し難き大事件として之が善後策に就ては特に注意を怠る能はず此際臨機の處置として先づ武裝行政を實行するの必要あるを認む若し一朝の油斷あれば叛逆に對する雷同心强き該地方民は孰れも此風潮を迎へ更に恐るべき動亂あるを計られざればなり云々と某大官は語れり

●全州水利工事現況

曩に報道したる全州原野の水利組合事業は其後着々進捗して既に工事を起したるもの將に計畫せんとするもの等併せて面積一萬町歩、資金百萬圓の一大水利組合を見んとするに至れり頃者同地方より入京したる人の談を聞くに臨益水利組合の事業は腰橋堤を復舊し二千町歩の面積に灌漑を爲すの計畫にて資本金二十萬圓を全州農工銀行より借入れ昨年七月より起工し十二月迄に測量及準備工事を了り來る二月一日より土工を開始し八月中旬迄に工事全部を完成する豫定なりと次は臨益南部水利組合にて三千町歩二十三萬五千圓の組合なるが此資金は東洋拓殖會社より借入れの内約あり昨年末より技師を派遣し測量を開始し居りて支障なくば明年四月末迄に完成の筈なり第三は概算七十萬圓の資本を投し動力を以て揚水を爲し其の動力費のみにても一箇年十萬圓の經費を要する筈なるが事業の完成されたる時は一石一圓五十錢高の上米を穫べきのみならず在來の方法にては一反歩の收穫は純粹の日本式を以てせば三石となり之れを在來の韓國式に一任するも一石五斗を殘すこと確實にして爲めに群山の輸出貿易は前項の事業半部の完成にても約八十萬圓を增加するに至るべしといふ

●質屋組合役員改選

去月三十日京城質屋組合總會を開き左の如く役員改選ありたり

取締役	池田長次郎
副取締役	森村太郎
評議員	鹽見督五郎
同	井上眞傳
同	南源太郎
同	大橋濟三郎
同	關繁太郎

倘同組合同業者間に於ける一定の距離制限に就き監督官廳に屆出る件其他同業者間にして組合に加入せずして營業を爲す者等あるを以て其筋に向ふて斯る不統一の行動なからしめんことを請願する件又組合費用積立金として一期毎に金一圓を徵收して該組合の經費に充用するものなるが組合員にして此義務を履行せざるものあるにより嚴重取立ることを等を決議したり

●兪吉濬と大韓協會

兪吉濬は往年日本に亡命中に於て當時の大韓協會幹部連との間に親しき者殊に副會長尹定孝とは從來の交り一層親密にして相互の往來も頻繁なるより世間は早くも兩者の間に事有るらしく傳ふるものなれども是は單に韓人の流行せる例の風說に過ぎず

日本銘刀傳

第卅六席　邑井一講演

興助は正宗の病氣を見て大に心を痛め何うかして恩人の御病氣の一日も早く全快するやうにと、嘗て五郎正宗が母親の爲めに水垢離を取つたやうに、毎日〳〵水を浴びて病氣全快を祈つたが其効なく命數と云ふものは仕方がないもので、遂に正應元年正月十一日眠るが如く大往生を遂げました、戒名は心瀧日顯居士と申します、誠に刀鍛冶界中興の祖と仰がるゝ正宗も壽命には如何とも詮方なきもので、貞宗も厚く葬式を致しました、是れにて五郎正宗の傳記は終りましたが一体ならば續いて貞宗、村正、義弘の御話を致さなければならぬのでありますが、餘り同じ時代の御話許りでは變化がありませんから、ズツと新らしい新刀中の大王、即ち新刀の正宗と稱はれまする長曾根虎徹入道興里の傳記に移ります

引續きまして、新刀の正宗長曾根虎徹入道興里の御話しを伺ひます、古刀には隨分名高い達人がございますが、新刀には至つて少くなうございます、新刀で名高いのが津田越前守助廣、肥前守忠吉、井上入道眞改、長曾根虎徹、先づ此四人であります、此の人の鍛たる刀は至つて少くない、夫れは昔しの言葉に『義弘の刀とお化は見たことが無い』と云ひ傳へてあります、尤も此人は十八歳にて名人の群に入り、二十一歳にて朋輩より嫉み遺恨に由つて怨りを受け、小夜の中山で谷から突落され、終に敢なき最後を遂げられた、刀の數の僅少のも無理ならぬ所、偖て此虎徹といふ人は元の刀鍛冶ではありませぬ以前は鎧鍛冶でありまして、仔細あつて、一朝志を翻へし、刀劍を鍛つことを學び、終に名譽の新刀鍛冶とは成りましたが、偖て物には抑揚波瀾が無ければ成らぬ、又人間は發憤といふ事がなければならぬ、發憤の心、失敗といふものも無ければならぬ、失敗は他日の成功を期するの根本でありまして、彼の韓信は漂母に食を惠まれ漁夫の股を潜り、大功を奏した塙保己一と云ふ盲目の大學者は、或時一部の小冊子を綴つて、時の老中堀田越前守に見せた、すると堀田樣が

堀「斯んな書物が何んになるものか」

盲目の癖に何が出來ると、耻かしめた時に保己一大いに怒つて、其場を退がつて、尚一層の奮發を起して、群書類從三百六十卷を編み、後世に其名を殘しました、シテ見ると人間は一寸した事から奮發をいたします者で、爰に加賀國石川郡金澤の城主前田加賀守菅原利行朝臣の家來に三百石を領する鎧鍛冶長曾根新兵衛沖高といへる者あり、其倅の沖里は幼名を虎次郎と申し、幼少の頃から父に從つて、鎧を鍛ふ事を學んで居りましたが、二十一歳の時父沖高は病死を遂げ、其後三百石を領して相變らず父の遺業を次で鎧を鍛へ、殿へ忠勤を勵んで居られました、廿五歳の時は其業益々進み、前田百万石の一家中でも虎次郎を尊み、彼の鎧を以てすれば、如何なる銘刀でも裏缺く事は更に無い、年は若いが當代の名人であると褒め者と成つて居られました、母が一人あつて誠に是に能く仕へました、併三千不幸より大なるは無し孝道を親に盡す位ゐなものは名を後世に殘てします、然かるに慶長九年六月のことでありますが

○「長曾根氏は居られるか」と表の方より入り來りましたは、是れ同番番頭役を勤むる篠原頼母といふ虎次郎とは無二の朋友であります

虎「是は篠原氏能く御入來、先づ〳〵是へ御通り下さいまし」

頼「イヤ今日は悠然構つては居られぬ、少しく據無い事があつて參つた」と云ふ其用向は外では無い、「今日御身の爲めに朋友大勢と物云ひを致して參つた、といふは御身は父新兵衛沖高に勝つた腕前である事は兼て一藩中の評判であつたが、近頃に至り虎次郎は名人かは知らぬけれども、父新兵衛より大に劣つて居る、困つた者ぢや、名人に二代は無いもので、弟子には師の半分に及ばすといふが夫に違ひ無いといふ評判今日も夫から話が起つて、態々忠告に來つたが、もう少し勵げまれては如何である」



東京電報

▲全國の米實收高

農商務省調査四十二年度米實收高は全國にて五千二百四十二萬三千九百七十九石にして豫想より四分一厘八毛の減少を示せり(二日夜着電)

▲織物税は廢止せず

本日豫算委員會にて政府は織物税は廢止する能はざる旨言明せり(同上)

▲兩支線の敷設費

大屋政府委員(韓國鐵道管理局長)は衆議院に於て韓國鐵道京元湖南兩線敷設に關する說明を爲したるが兩線の敷設經費は總計三千六百八十二萬圓にして明年度(明治四十三年度)より工事に着手し十一箇年間にして完成する計畫なる旨言明せり(三日)

歐洲電報

▲西澤知事の死去

西澤福岡縣知事は病氣の爲死去せり(同上)

▲巴里洪水の損害

巴里洪水損害四千万磅以上に上る(三日)

桑港電報

▲炭坑爆發の慘事

米國コロラド州プリメロ鑛山爆發し坑夫百四十九名慘死せり(三日着)

雜報

韓皇帝の御親電

二日は故伊藤公の百日祭に當るを以て韓皇は伊藤家に對し左の親電を發したり

脫故公爵の百日祭に當り悲悃に堪へず茲に遙かに哀悼の衷情を表す

右に對し伊藤博邦公は閔宮相へ左の意味の返電ありたり

亡父の百日祭に御懇篤なる御親電を賜はり感激に堪へず謹んで御禮を申上ぐ、此機に於て貴皇室の安寧と福祉を祈り奉る

右言上を乞ふ

仁政殿の百日祭

二日午後六時より昌德宮仁政殿に於て伊藤公百日祭擧行せられ公に關する活動寫眞の催ふしあり皇帝皇后を始め皇族、各大臣、女官等陪觀したるが韓皇には殊の外感興を覺へさせられ屢々感歎の聲を發せられたり因みに同活動寫眞は愛國婦人會所有のものなりと

慶北沿岸の漁狀

最近に慶尙北道興海郡沿岸漁業出願に對し實地調査の上歸來したる當局者の談を聞くに興海郡は迎日灣を抱擁する北方一帶にして沿岸の出入約七里に亘り此間斗湖、汝南、竹別、七浦、烏項の小灣をなすものあり就中斗湖浦は深水稍深く西風波を防ぐに足り迎日灣内唯一の避錨安全なる場所なり而して沿岸近く丘陵匍匐せりと雖海濱に迫りて屹立するもの無き爲め海濱一體は殆ど砂濱にして僅かに北部の一端に岩礁の存するのみ依て地勢狀より見れば沿岸九分迄は地曳の好適地にして又比較的潮流緩漫なるより大敷、角網、壺網、桝網等の定置漁業に適し魚族は鰊、鰮、鰈を主とし北部は甚の漁場より沿岸には韓人部落約十七あり背後には丘陵重疊し沃野なしと雖又耕作地尠なからざるを以て半農半漁の生活をなせるが從來經營せる漁業は固有漁業に屬する周ト網(大敷にして十月より翌年四月に至る漁期鰊、鰈を主とす)二十四ヶ所及び同じく固有に屬する紫岩五六ケ所並に北部なる龍德洞、曲江洞、七浦洞地先に於る僅かに地曳四ケ所位に過ぎざるなり然して日人と本部との關係としては汝南里に一戶の移住あるのみと山口縣の同里に於て少許の根據地を有するものあるのみ漁業も又既に經營せる事あるものは壺網、角網、桝網、大敷等約十ヶ所許りに過ぎずして未だ以て甚だ幼稚なるものなりとす然れど隣郡なる延日郡には漸次なる移住適地を扣へたるを以て此處に移住する漁民殊に本部漁場に出漁し居れり現在に於ての漁業出願書は百三十八件に達せるを以ても其有望なる事は推すに難からず

不景氣と預金增加

(久能農工支配人談)

目下蕭殺末に方り韓人商舗は幾分活氣を帶び來る可く期待せしに事實は則ち豫期に反し驚く可き不況裡に沈睡し居れり然るに一方銀行預金の現狀に顧みれば次第に增加の傾向を有し金融益々緩漫となり各金融業者は孰れも恰當の放資口なきに苦しみつゝあるが如し思ふに這般金融の緩漫は世界一般を通じての現象なるが當地に在ては客年二三四五月頃より其兆著しく顯はれ來り其遠因を探究すれば戰役に際し巨額の現金韓國全般に落ち韓民を潤はしたる結果小商人に非常の活動を與へたるが二三年ならずして忽ち惰氣を生じ破產者續出したる爲め其影響は是等小商人の命の親たる一流商人に及び終に一流商人中にも二三の破產者を現はしたり而して韓人の破產は總て逃亡の形式なる爲め其危險名狀すべからず斯かる現象なる爲め有資者は孰れも戰々恟々として手控へ勝となり隨て小商人は命の親を失ひ一流商人は危險の放資を恐れて之を銀行預金に附するの安全なるを覺知するに至れり如上の有様なるに搗て加へて米價は倍々低落し地方の出廻稀有の不況を呈し米穀商人の資金需要皆無となれるもの近因を爲し茲に不景氣は金融緩漫の結果を釀出し各銀行業者は預金の增加に苦しむもの丶如し

順川暴動と徵稅

過般順川市場に於て市場稅徵收上より端なく暴動を敢行したるに就き某氏は語りて曰はく從來韓國に於ては各地に散在せる市場より郡守又は舍音に於て一種の市場稅なるものを誅求し其の率又頗る高かりしに客年地方行政刷新と同時に地方公共事業に充つる爲め地方費を設定し各市場に就き賣揚高百分一の率を課すことゝなりたるが法令の周知は韓國に於ては頗る至難の事とて一般地方韓民殊に僻陬の地方民は地方費の精神を了解せず甚だしきは同法の發布すら十分知了せざる有樣なるに或る地方に於ては所謂儒生輩の一派が愚昧の韓民に對し同費の徵收は日本官吏の私腹を肥やすものなれば決して之れを納入す可からず杯と使嗾したるより偶々納稅を避忌するの傾あり又一方に於て執行官たる財務官中には懇切丁寧に徵稅の理由を說示せずして命令的に徵稅せんとするより今回の如き暴動を見るに至りたる次第なれば今后諸法令の發布と徵稅官の監督に付ては一層の注意を要すべしと

本年度の產鐵豫想

從來韓國政府の經營し居りたる載寧及殷栗の鐵山は本年度より日本政府に於て經營することゝなりたるに就ては來る四月を以て枝光製鐵所の當局者渡韓の上規模の擴張を爲すに至れる由なるが從來同製鐵所が年々の需用高は鎔鑛三本を使用し二十六萬噸にて掃除の爲め鎔鑛を使用せざる時あるに依り需用は此以下たるべし而して此鐵鑛の供給は淸國大冶及韓國よりの輸入に係るものなるが製鐵所の豫定は大冶鑛山より十万噸、韓國兼二浦二万噸、安岳五萬噸、黃州一萬噸、載寧及殷栗六萬噸、合計十三万噸にして韓國の產額は何れも增加の模樣あり今后頗る有望なりと云ふ因に記す製鐵所に於ては目下十五六万噸の貯藏品を有し居れり

暴民と其主謀者

順川暴動の教唆者及其所因は目下嚴探中なるが其主謀者は同地商品組合長當鳳漢及基督教長老派信徒羅斗なるが如く其他排日系の私立德林學校生徒等七十餘名も亦暴發煽動の因を爲したるものと認めらる而して今日迄に就縛したる兇民は二十餘名に達したりと云ふ

●韓鐵ご議會の質問

二月二日午後統監府着、在東京大屋局長より石塚長官宛の電報に曰く本日豫算分科會に於て高柳代議士より韓鐵新線計畫は頗る長期に過ぎざるやとの意味の質問あり右に對し大屋局長は工事の計畫上より出でたるにあらず來年度より韓銀の爲め年に三百五十萬圓を使用し得ることゝなりしに依り金の上より十一年に割り振りたりと答辯せり

●在韓英人ご家屋稅

諸外國人が韓國政府の施行せる酒、烟草及家屋の三稅に就き之れを甘諾して納稅すべしとのことは既報の如くなるが英國總領事は今般本國政府の訓令を受け韓國政府の施行せる家屋稅に遵ふべしとの法令を英國人に向け頒布したるが酒及烟草の二稅に對して之れが法令を出さゞりしは英國人か右の二稅に

第一銀行營業成績

資本金　一千萬圓

積立金　四百二十萬圓

下半期純益金　八十四萬九千三百九十九圓二十七錢

配當(年一割)

後季繰越金　五十六萬三千六百十圓八錢

京城支店長　竹山純平

第一銀行は本店を東京に置き當地支店は南山町一丁目にあり今昨年下半期に於ける營業成績を聞くに上半期よりの市場閑散は下半期に入りても亦持續されたるのみならず益々不景氣に陷るの狀態となり金融は上半期以上に緩漫を告げしことゝて同行とても多少の影響は免れざりしが昨年十月二十日までは中央銀行の業務に與はり居りしため他銀行と比較する時は差程の影響は蒙らざりしかど十月二十日韓國銀行新設されて從來の特權は全部韓國銀行に引繼ぎたれば爾來は普通の商業銀行として營業に從事する事となれりされば市場の金融緩漫なる上に前記の特權を失ひたる同行のことゝて利益の點に於て聊か憂慮する處ありしも事實は之れと反し中央銀行時代より以上取引先の增加を來し貸出し預金等も勢い增加したればりは一時の杞憂に過ぎずして金融緩漫なる裡に意外の效果を收めたりと

從ふべき業務を爲し居らざる爲めなり

●改正會計法の骨子

韓國會計法は之が改正の必要を認め客年來の宿題となり度支部當局に於て研究中なるが改正の方針は大體に於て日本現行法を採用するに決したるも亦韓國の事情と參酌し最も時宜に適さしむべし而して現行法の缺點は出給證明及物品會計等に於て實際の事情と相伴はざるもの多きが如ければ之を改正し併せて一般に簡易正確を庶幾すべしと

●釜山汽船會社改革

從來韓國政府より一箇年三万圓の補助を得釜山を基點とし迎日灣、木浦及び濟州島に至る沿岸航路を往復しつゝありし釜山汽船會社は今般岡十郎氏等山口縣人の持株を釜山に於ける重なる實業家大池及迫間氏等が買收して今後一層業務の擴張を爲す筈なりと云ふ

●漢湖農工の出入金

客年下半期間に於ける漢湖農工銀行の出入金は左の如し

	入金	出金
本店	八、三八〇、六九七、六五〇	八、三八二、一二九、六三〇
開城	一、〇三三、九九三、六七五	一、〇四、九〇八、七〇〇
春川	二二五、一九四、九二一	二二五、〇三九、三八〇
江原	九二一、一七三、一六〇	九二一、一〇七、一〇〇
太田	一、一一七、一五三、三〇五	一、一八〇、五七八、二六〇
忠州	一六三、一〇四、九一四	一六三、五三四、〇二四
公州	八〇二、七二〇、七二七	八六八、八五七、〇三九
淸州	二八七、六五二、五八七	二三〇、六六二、〇〇五
計	一三、四四一、八九、四四九	一三、九五六、八一六、一九五

●決死團組織の嫌疑

過般徽文義塾々長柳一宣、興士團職員安一英、任景宰、西北學會の崔錫夏等警視廳へ召喚せられ翌日直ちに放還せられたるが訊問の內容は李在明に關する決死團組織の嫌疑なりしと漏れ聞けり

●土地整理局の廳舍

近々開設さるべき臨時土地調査局は其規模尨大なる組織なるが之に要する委員の如きも頗る多數に達すべく隨て全部收容すべき適當の廳舍なきより現在財產整理局裏手に宏壯の建築する筈

●京城民會々議用件

林田助役辭表提出に付之れが承認の件第三小學校新築の件等に付五日民團議會を開催の筈なりしも豫定敷地測量未了其他の爲め來る七日開會するに決す

●全北水產會社計畫

全羅北道に於ける地方韓人の發起にて今回全州に水產會社設立の計畫あり漢城府民會長兪吉濬を同社の顧問又は總裁に推さんとするの議ありと云ふ

●地方制度調査例會

昨二日午前十一時より任京城各參與官澤田地方局長及中山書記官等は統監府樓上會議室に參集し地方制度に關する例會を開き二時過ぎ散會したりと

●興銀總裁等の敍勳

韓皇より日本興業銀行總裁添田壽一氏に勳一等太極章を、同副總裁佃一豫、印刷局長神野勝之助氏に勳二等太極章を其他文武官十七名に敍勳の沙汰あり

●韓國人出入の警戒

近時韓國の刺客渡日說頻々たるを以て下關警察署は關釜連絡船の昇降韓人に對し嚴重なる警戒をなしつゝありと

●三浦理事官園遊會

三浦京城理事官は客年天長節に伊藤公兇變の爲め園遊會を見合はせたるを以て來る紀元節に一大盛會を催ふす由

●地方費と種苗配付

本年度地方費を以て種苗を購入し一般農民に之を配布し農事改良に資すると

●京孤第四回紀念式

京城孤兒院は今四日午後一時より同院に於て第四回紀念式を擧行する由なり

龍山通信

(三日支局發)

▲大阪汎愛扶殖會　同會にては本月五日より五月末日まで四箇月間韓國各地にて活動寫眞及音樂隊を以て慈善演藝會を開催する由にて事務員二十餘名は不日渡鮮すと云ふ

▲尾の道多度津間　來る十四十五の兩日は備前西大寺開帳するため當日間は三蟠、高松間の臨時航海を開始するに因り尾の道多度津間の連絡船は臨時休止するとの通知ありたり

▲一月中鐵道收入　鐵道管理局一月中に於ける運輸收入額は左の如し

客車收入　十六萬三百九十四圓四十一錢

乘車人數　十三萬三千五百二十二人

貨車收入　十六萬八千二百六圓十五錢

噸數　三万九千七百五十噸

合計　三十二万八千六百圓九十八錢

之れを昨年一月中に於ける收入高と比較する時は乘車人員に於ては少しく減退したりと雖も貨物輸送の著るしく增加したるに因りて結局一萬一千六十八圓六十七錢の增加を見るに至りたるなり因みに昨年の四月より乘客の減少したるは昨年は韓皇の南北行幸ありしため昨年一月は豫想外の增收を見たるに基因するものなれば本年一月は比較的好成績なりしなり

▲關釜連絡旅客數　本年一月中に於ける關釜連絡船に依る旅客及び手荷物數は左の如し

旅客　出　二千百四十三人

旅客　入　二千〇五十一人

手荷物　出　二千二百〇二個

手荷物　入　二千六百十九個

なるが前年同月に比し出に於て四十九人減じ、入に於て十七人增加、手荷物に於ては出に於て百六十一個增加、入に於て二百二十七個增加す

▲陸軍の紀念祝祭　來る三月十日は陸軍紀念日に相當するを以て當駐剳軍にては例年の如く大祝賀會を開催する計畫にて昨日各隊より委員若干名を召集し宮道中佐委員長となりて之に關する協議を凝らしたりと云ふ

▲明石參謀長歸朝　福島中將見送りの爲め釜山に出張中の明石軍參謀長は來る七日頃歸任の豫定なり

▲木越師團長歸期　目下平壤地方に出張中の木越第六師團長は用務を了へ今明日中歸任の筈なり

●服部暢氏招待會　既電の通り大阪朝日滿洲特派員にして元京城日報主筆の同氏赴任の途次入京に付き知友二十餘名は昨三日午後六時より花月に氏を招待し晩餐を供し舊交を溫めたりと

●統營警察の開署　新設統營警察署にては來る十一日開署式を擧行する筈

●鶴岡書記官辭任　農商工部書記官鶴岡太郎氏は近々任を辭し歸國すと

京城の最近市況

(商業會議所の調査)

舊年末は一年の決算期とて各方面共金融は多少の繁忙を極めたりしが市況沈衰の折柄とて資金の需用飽からず是れ固より各自警戒の結果たるべきも主として見越輸入を企畫する者殆どなく從ふて各種諸工事及商取引に於ても沈靜萎靡に因る又た一面銀行側にありては多少貸出しの手を緩めたりしも確實なる顧客少く反りて剩餘の資金を金庫深く藏するに止まりたりしも個人側民間の金融業者の手に據る取引關係は比較的繁忙を見たりしも是れとて從來の慣習辨濟に充當するに過ぎず他純然たる活動資金の需要に於ても甚しき逼迫を見ず殊に歲末に至り諸工事請負金等の下附あり爲に一般金融界をして緩和を持續せしめつゝ至極平靜の間に越年せしが一月に入りてより市況は益沈靜に傾き火の消ゑたるの觀あり一月に於ける一般の不振は例年の事なれども茲に特殊の大因として見るべきは昨年末に於ける聯合賣出しの擧なり同會の擧に因り吸集されたる購買金は約四十萬圓の巨額に上り借僕寡婦の嚢底迄も拔取りし一般の購買力を枯渇せしめし結果なりとす就ては市況の復活は今後解氷の後を期せざるべからず云々

●兪吉濬の全州行　漢城府民會長兪吉濬は去月廿八日群山に上陸し翌廿九日全州に向ひたり其用向は別項所載の通り水產會社設立に關してなりと云ふ

●山形分隊長巡視　京城憲兵分隊長山形中佐は往復約二週間の豫定にて四日朝出發原州、鐵原方面を巡視すると

●若林理事官歸任　入京中なりし若林平壤理事官は一昨二日歸任したり

●堀監督局長歸任　入京中なりし光州財務監督局長の同氏は二日歸任せり

龍山より

野奈生

編輯局諸兄　昨今れ寒いことにて候はずや而して露も味噌も凍てゝ了へるは誠に愉快にて候はずや御地都大路に沙塵を捲いて狂ふ北韓山颪は定めて小氣味好く候べし去りながら十里の平野を撫でゝ漢江の堅氷に淨められつ隣と風伯が警蹕の音勇ましくも訪來る此龍山に在りては一入の小氣味好さ凛として氣自ら振ふの感有之候因て當地に在りて生とし生る程のものは蠢彼の昆虫の蟄を樂しむある外は皆齊しく營々として活動致し居り候殊に吾居留民の精勵は耳に駭け度き位にて例せば新年早々民團警規則の改正成り形式的れ役所的ならずして商業會議所の事を行はんとする經濟協會生れ龍山麻浦間の接近を圖らんが爲め鐵路の開鑿に關し民團理事者は苦心を重ね居り尙韓國橫貫鐵道期成同盟會よりは近日中運動委員を東京に派遣する筈にて候盛んにては候はずや

叙上は公共事業中著しきものゝみを擧げたり若し夫れ居留民各個の働き振りは一々茲に列記する能はず斯くてこそ此地の發展は期して待つべきなれど唯々感服致し居り候然るに最近意外なる椿事出來し哀れ一萬の居留民は痛嘆を盛られたるが如く彼等が第二の鄕里をして瀕死の境地に置かれたるものとして憂鬱且つ憤激致し居り候开は麻浦鐵橋一件に候右に對し龍山民長は昨紙所報の如く許可取消の願書を內部に提出せしを以て必ずや當局に於ても願意を容るゝことゝ相信じ候得共食々事實と成りて發表せられざる間は人々寢寐安からざる次第に御座候

抑も同所の架橋は從來之れが計畫を試みたる者頗ぶる多かりしも終に一私人の營利的事業に適せずとして皆悉く拋棄したり其理由は彼等が自己の利益のために龍山の生命に危害を加ふると欲せざるが爲めなりしなり若し漢江の運濟に障害を與へざる程度の設備を爲さんか到底些の利益をも得る能はざる爲めなりしなり然るに內部は一私人の營利の爲めに架橋を許可したる思はざるの甚だしきものに候はずや他日架橋者し成らば交通の便は即ち便なりと雖も現に渡船有るを以て多少の不便は忍び能はざる程に非らず然れども爲めに運漕を阻害せらるゝに於ては龍山仁川の居民は決して之れを忍び能はざる筈に御座候內部若し一私人の利益の爲めに龍仁兩地民衆の利益を無視する無くんば幸甚至極に候更に進むで公衆の爲めに內部自ら費を投じて運濟に障害を與へざるべく十分の研究を遂げ完全なる架橋を爲さば世人は手を額にして韓政府の德を頌せん惟ふに當局豈此の心無からんや唯遲程の大事と思考せざりしのみと存じ候

編輯局諸兄本月六日龍山日の出の主催に係る漢江氷上運動會あり去年は安東縣新義州兩地新聞の主催の下に同樣の擧あり世人をして快哉を叫ばしめしが今回日の出社の擧は世の惰氣を醒ますの勁あらん願くば都人士をして此の間に入らしめたし誘合せて御賁臨あらばをも御勸め下され度龍山人士が如何に御紹介仕らん與序を以て內部の官吏方漢江を顧み漢江を愛するや否や目前に見て何とか一分別有之筈に候頓首



淫婦の不始末

▲二人の見返ある女 ▲今度が丁度三度目

壽町一丁目馬車業中尾旁太郎妻れ春(二七)と云ふは二人の見返持ながら性來の多情者なるが去月廿五日其の多情が因となりて大騷動を惹起したる話あり 左に本町通り九丁目に住む矢隈り馬車業の深見金次と云ふ男あり一昨々年の年暇前記中尾方へ店員として這入り込し者なるが元來旁太郎は弄花の好きな男ぞて毎夜自宅に居る事稀れなる處より多情のれ春は閨淋しさの餘り何日しか此の金次と違ならぬ契を結ぶに至り不義の快樂を貪り居たるが惡事千里の諺の通り近所の噂が次第と亭主の耳に入り遂に昨年三月現場を押へられて平身低頭の結果一時は事濟納まりしことさへありしが不義の惡縁は如何にしても思ひ切れぬ者か月日の過つに隨つてれ春金次の兩人は再び人目の關を越へ逢ふ瀨を重ね居たりし處又もや昨年の八月同衾中を發見されて大問題となり既んでに血塗れの騷動ともならんとせしも隣家の進藤某外一二名の仲裁にて先づ一段落となりたり然るに性懲もなきれ春は餘程男に惚れ込し者か又は男が水を向けるか何方が何方か其處迄は知らね共蒼くなつた當時の事は何日しか忘れ果て又しても忘れられぬ金次と痴話狂ひ居たるが既に二度迄も亭主に取押へられし事なれば今度と云ふ三度目が露顯でもしやうなれば最う百年目の旁次郎さは緣なき者と自分でも覺悟を爲し居たる者か情夫金次より若し今度取押へられたる時は妾は元より二人の子供共に引取るべく候と云ふ證文迄を書かせ置き相變らず道ならぬ快[illegible]度は果には怎う納まる物やらと近所の噂盛ずし

燒打慘狀後聞

▲暴民は順川邑内全部

順川暴動後の其慘狀實に目も當てられず日本人の死七行衞不明一韓人の死末詳なるも約十名以上にして日本人の家屋は全部破壞せられ物品は奪取せられ郵衛財務署、巡査駐在所は全燒せられ郵便取扱所は書類全部持去られ狀況慘憺たり順川邑内の人民は二十九日夜憲兵の出張と同時に大抵何れへか逃げ去り市中は寂寥たるも殺氣を以て滿たされ慘殺されたる日本人は孰れも石を以て頭部を潰され居りて其誰たるや判明せず日本人は孰れも邑内及び邑を去る約七百米突の所に死し居れり日本人の死者は財務主事野澤辰三郎、農學試作場森文作、郵便取扱所長大野憲太郎、藥種商矢島政吉、雜貨商木村庄太郎、賦東昌一、杉本(名不詳)學校教師山田三郎にして負傷者は學校教師貴島榮なり死屍は各所に散在するに依り昨朝郵便取扱所内へ收容したり被害日本人の妻子は何れも無事なり暴動の首魁は目下判明せず附和雷同したる者は順川邑内人民全部なるが如し

火藥爆發負傷

▲負傷人は韓人夫婦

二日午前八時頃大和町二丁目常盤樓裏手に當り突然非常なる物音聞ねしかば附近の人々何事ならんと驅け付け見しに同町十八統七戸の李某なる韓人夫婦が火藥にて兩手に大負傷を爲し居るより直樣其筋へ訴へ出で警官出張取調べたる處原因はダイナマイトを過つて火鉢に投じたるより起りしとの事去りとは危險千萬

●猛虎狩の壯擧

[illegible]郷場憲兵分遣所にて[illegible]三里許り三郷場附近に[illegible]來再々猛虎の現はれて[illegible]なく依て同地附近部落[illegible]々恟々として正業に安[illegible]て數日前虎狩りの議を[illegible]分遣所に願ひ出でたる[illegible]近々此の猛虎狩の壯擧[illegible]下其の準備中なる由

●治療代は自腹

▲痛い目と金目の自辨

[illegible]蓬萊町一丁目居留立石[illegible]ふは二日午後十時頃組座前の饂飩屋舛谷政太郎方へ[illegible]し居るにも拘らず這入[illegible]〳〵と傾け居たるが對手[illegible]て獨酌なしつゝある金隣實なる韓人に喧嘩を吹き掛けしに[illegible]人が應ぜざりしにぞ[illegible]も思ひし者か今度は[illegible]を事とし傍若無人を[illegible]人も見兼ねて同人へ[illegible]國太郎は待つてました[illegible]上總には食臺上の[illegible]亭主を對手取りて散々[illegible]ければ不得止戶外に[illegible]し居る事とて足元[illegible]顚倒して頭部に[illegible]れば直樣安東病院に[illegible]せし上右の由を通[illegible]關の上國太郎は[illegible]代は自辨の旨申渡[illegible]て放還とは可い面の[illegible]

●出齒式の醉漢

▲女湯を覗いて

熊本縣生れ當時南大門[illegible]雇人上田金太郎(三二)と云ふは二日午後九時頃大酒食つた其の跡にて長谷川町の清國人浴屋三楚堂に至り入浴なしたるが浴室を出で來りたるも中々歸る樣子もなく女湯を窺ひては怪態なる眼容をなして種々なる文句を列べ出したる始末に同家雇人なる尙當と云ふが歸宅を促せども一向に聞き入るゝ摸樣なきにぞ其の旨清國警察へ訴へ出でしかば巡査林瑚湘が私服にて出張日本語の解る處より巧みに同人を戶外に誘ひ出し會洞派出所に連れ込みて說諭を加へ出しかば當該巡査は其の不都合を諭して放還せしに金太郎は懲りもせず又もや前記の浴屋に這入り込み尙當を捉へて何故に自分を交番へ連れ行きしやと今度は亂暴も爲兼ね間敷き見幕なるより同人は再び派出所に驅け込み訴へ出でたれば警官出張懇々と說諭なせしも何分醉漢の事とて譯け分らず依て本署へ同行の上覺醒後大きな大きなれ目玉頂戴して歸れッ

●賭博好な客引

仁川本町一丁目花屋旅館客引なる山口生れの友尻强助と云ふ奴は同館滯宿中の山口縣生れの上野鐵造と云へる者より乘船切符購求の依頼を受け金二十圓を受取りたる儘切符は買はず支那町に於て韓人と賭博を爲し見ん事其大切の二十圓の金子をば失ひ肝腎の切符は買へざるのみならず辨償すら出來ざるより大に窮したれど漸くにして主人より其二十圓を立換へて事濟みとなりたるが其翌日又もや前記鐵造より洋服十七點を入質して金十四五圓を調達し來れと命ぜられたるを好い事にして其金をば宮町一丁目なる渡邊人力車帳場に於て賭博を爲し重ね〳〵失敗して再び其金をば無一文にしたればさしもの鐵造も大に立腹し其筋に訴出で右友尻は仁川署に引致[illegible]調中なりと云ふが客引の不都合は屢々耳にする處なれば[illegible]餘りある所爲なら[illegible]

●眼鏡代五十圓

仁川仲町三丁[illegible]七郎(五十)と云ふは[illegible]より日本公園下藝[illegible]醉ひの廻るに連れ[illegible]の亂痴氣騷ぎを爲[illegible]頃漸く同店を立出[illegible]目の二見樓に至り[illegible]らぬ宇七郎の事な[illegible]れど折柄の深夜な[illegible]に一先づは惡口雜[illegible]るが又もや同樓に[illegible]袋洗足の儘座敷に[illegible]遺失さしたは此樓[illegible]五十圓を眼鏡代と[illegible]還を吹き掛け亂暴を[illegible]警官出張一應最寄[illegible]上嚴重に說諭し同[illegible]三時半歸宅せしめたりと

●擧動から露顯

仁川平洞居住の質屋藥山富作方に一昨日午後三時頃入質の爲め來れる韓人の擧動最と不審なるものあるより其旨仁川署に密報し警官出張取調べの結果初めは言を左右に托して實を吐かざりしが遂には包み切れずして自分は京城新洞生れの金春七(二九)と云ひ栗木洞某韓人方にて蒲團二枚を窃取したる外十數箇所にて窃盜を働き贓品は皆な諸所の質屋に入質したりとの事實を自白せしかば本署に引致取調中なり

●末廣の一週年祝

太平町の末廣亭にては昨三日は同亭新築の一週年に相當すとて一週年祝ひをなしたるが余興として次の如き催しありき 福引、落語、新內、手品、義太夫、手踊、博多二輪賀等にして該余興は來會有志の隱し藝[illegible]

●射擊して科料

龍山元町川丁目執行伊太郎方雇人岸宗善平(三三)は二日午後一時自宅裏にて飼養中の鷄を十二番獵銃にて射擊し彈丸飛散して附近に遊び居たる榮町三十八番戶廣渡鐵五郎二男常市(八つ)の左頸部に命中出血せしめし廉にて科料二圓

●泥醉者の亂暴

二日午後六時頃龍山元町一丁目龍山組の車夫金子許一(三七)及京城壽町三丁目車夫吉田祐吉(三七)の兩人は散々醉ッ拂ひし果て又もや元町三丁目柳明樓に這入り込み飲酒の結果亂暴を働き其の筋より出張破損器具代として二十七錢を支拂ふたりとは厄介な男

●貸金から掴合

龍山川端町四十五番地居留北甚太郎(四三)は二日午後四時頃兼て貸金ある同町の谷川次郎吉(三三)方に赴き該金の請求をなしたるも谷川は空嘯ぶきて取合はぬより遂に掴み合を初めし處へ警官通り懸りて双方說諭

●浪花館

同館四日目今晚の出し物は左の如くにして例の如く大切總掛合は「忠臣藏三段目」 御祝儀賣の入船(越吉)れ駒才三鈴ケ森(今子)三代記八ツ目(此菊)朝顏宿や(此清)妹脊山四段目(春吉)日吉丸三段目(小妻)合邦辻合邦內(團菊)御所櫻三段目(鶴之助)三味(今子)

●一昨日の新町

同廓一昨日の登樓客は八十三名にして其の消費金高四百六十五圓四十錢

●一昨夜の敷島

遊廓の總客數は三十七人消費高は百二十三圓三錢なり

▲編輯日誌▼

昨日の編輯は至極無事、寒いと云ふ者もない、ひらと柳江と桃睦も默々として執筆して居る、社長の顏も一向見受けぬ樣だつた、電話許りがチリン〳〵と八ケ間敷い

▲平民文庫▼

▲京城局の髮を分けた切手賣君に忠告す君は公衆に對して横柄だそして女に英語などで弄ふて居るが宜敷くない事だ止し給へ而して今少し親切に爲給へ(矢目郞生)▲南大門前を左に這入つた大平町通りは松葉の市が許可してありますか大きな牛が山の樣な柴を積んで行列を爲てゐる車などの通り塲はありはせんが一体何うしたと云うんだ(呆れ坊)▲歌舞伎座の磯圓一座は一昨日限りで當地を引揚げて仁川に乘込む相なが惜い事だ今度は誰が來るか少しは見れる者が輸入して貰ひたい(好劇生)▲龍山の氷上運動君では日の出の社長さん新橋君の先登蹈查がある相な君の体量を以てして此の任に當らる來會者幸ひに安心して尾行せよ(珍妙生)▲朝市塲東横手通りの難路は何の態だらう牛車や馬車が何十臺となく列んだまゝで動かばこそ何とか彼とかの屁にもならぬ喧嘩で通行の人間は夫れが濟む迄往きも來も出來ぬ朝晚此は每日の事だ怎うか取締りが爲て貰ひたい者だ(困生)▲僕は兩三日から歯が痛くて困つて居る醫者に罹るには金はなし賣藥代さへもない境遇何とか可い方法はあるまいか(ケー生)▲其麼質問は困りますね文庫氏に金があれば謹んで呈上しますが當方も生憎だから詮方がない怎うする者が痛む歯を全部拔いて了ひ給へ(小僧)▲此頭は非常に風邪が流行するが何とか適當な防禦法はありますまいか(風邪人)▲困りきすな醫者問答見た樣な事許り飛び込で來るには文庫子醫者ではないから聊か迷惑する兎に角風を引かぬ樣心懸ける迄でせう(小僧)▲此の二三日は非常の寒氣なりしが今後少しは溫氣になるべきや如何(寒がり坊)▲今度は測候ですか文庫子の返事よりも測候所の豫報の方がまだ確かでせう(小僧)▲江戶川の料理は味くて馬鹿に安い試みに五十錢玉一つで乘込んでご覽なさい但し助的は何等の得る處なしと知り給へ(料理好)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

二月四日月齡十二の廿四、七赤大安庚子閉節分ヘ一白 隆昇の日なり入門仕官就職相談等吉保證世話事を禁ず△二黑 家庭內に些少の煩累係累あらん其他靜寧△三碧 交際上に爭論起り取引上に間違紛紜起らんとす△四綠 共同組合連帶締結良好他は總じて厄運日なり△五黃 貸借保證事に間違紛糾起らんとす誘惑防ぐべし△六白 轉宅轉業分業良好些少の驚愕若くは煩累あらん△七赤 不通の日なり新事見合せの事尙相談依頼契約等見込なし△八白 長上の者のために煩累あらん音信度事を齎らすあらん△九紫 新事及變更凶何旅行金談相談貸借面白からず

株式會社百三十銀行第廿三期營業報告

貸借對照表

資產	金額
一 諸貸出金	一二、五二八、一・四六九
一 有價證券	五、四五八、〇一五・八二〇
一 預ケ金	二、二一、四六七・一二〇
一 他店へ貸(八三〇箇所)	六五五、九二三・八七〇
一 未拂込金	一、七八一、二五〇・〇〇〇
一 地所建物什器	一、二九〇、八五二・四三二
一 買物流込	三五七、一六七・四三〇
一 諸證券	一、五九一、四九八・四一〇
一 買入元	[illegible]
一 雜勘定	一二一、七五五・一七〇
一 金銀勘定	一、七三七、〇五五・〇一七
合計	二五、六三四、五一九・三六八

負債	金額
一 諸預り金	一二、七三八、七一三・九一六
一 支拂送金	[illegible]
一 爲替手形	八二、〇六三・三七〇
一 未拂利息及	[illegible]
一 既收割引料	[illegible]
一 借入金	一八三、七六五・八二〇
一 他店ヨリ借(一四三六箇所)	一、三八四、八九五・三七五
一 資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 積立金	一、六五〇、〇〇〇・〇〇〇
一 支拂未濟配當金	三七三、〇〇三・四二三
一 當期純益金	七九、七〇七・四五四
合計	二五、六三四、五一九・三六八

損益勘定

一金百十五万七千九百九十二圓六十六錢七厘 當期總益金
一金九十二萬一千七百二十四圓十六錢三厘 當期總損金
差引 一金二十三萬六千二百六十八圓五十錢四厘 當期純益金
一金四千三百四十三圓六十三錢 前期繰越金
合計金廿四萬五百六十九圓十三錢四厘 純益總計金
內 金十六萬八百六十一圓六十八錢 消却
再差引 金七万九千七百七圓四十五錢四厘 純益金

此配當計算左ノ如シ
一金五千圓 積立金
一金七千五百圓 役員賞與金及交際費
一金六萬三千七百五十圓 優先株式配當金(年八分)
一金三千四百五十七圓四十五錢四厘 後期へ繰越金

右之通ニ候也
明治四十三年一月
株式會社百三十銀行
取締役頭取 安田善三郎
取締役副頭取 高橋長秋
取締役 小川爲次郎
取締役 井上保次郎
取締役 小西又助
常務取締役 富士田卯之助
取締役 森本清兵衛
前記ノ各項調査候處相違無之候也
監查役 內藤爲三郎
監查役 上井市兵衛
監查役 河村清七
監查役 渡邊至
監督 安田善次郎

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店
●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子二三人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻 本店
●頭上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まず 氏名在社(入)
●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ 日の出町下山商行(電一〇〇七)

物件部

●貸家 西大門内領事館隣六疊三間四疊半並に炊事場付格安に貸したし 所謂水方へ
●電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舗譲渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雑貨店主人實家相續の爲め諸器具家居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建四疊三間六疊二間外に長屋建もあり滊車電車に近く出入便希望の方は電話七四番
●求貸家 水標町二三丁目にて貸家を求む一九疊位ならば最佳 氏名在社

廣告

中島醫院

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院(電話三三)
前京城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

入院隨意
內科
外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二二六)
院長陸軍軍醫正 高井貞治

……五六番 ……牧場

外科 內科
梅毒痳病專門
●京城御成町南大門外一丁目
●入院隨意
●電話番號九三八番
戶田病院

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送

內國通運株式會社

京城南大門驛前　京城支店　電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前　仁川出張所　電話五一一番
草梁驛前　釜山驛前　釜山出張所　電話五一六番 電話六三七番
龍山驛構內　龍山出張所　電話二〇六番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室)奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痳病膀胱病生殖器機能障碍の診療に從事
診療(午前自八時午前二時迄 夜間自五時九時迄)
入院隨意
南大門通三丁目
支那領事館前通 京城郵便局後
電話一七三番
院主 佐藤伊 佐藤皮膚病院

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて御融通可申候下記御便利の營業所へ電話又は郵書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質企業

京城竹園町一丁目
樋下田本店(電話九三二番)
京城相生町(南大門通魚市場東裏)
樋下田支店(電話一四三九番)
龍山清水町六十三番戶
樋下田支店 電話四〇四番

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集豐富
◎校正嚴密 ◎攜帶便利
●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣後以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層希望に副ふ大目を協約、官制、官規、等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として隨時御記入の便を謀りたる等設備の完きを期し聊か遺憾なきを存し有之就ては勿論索引を附して檢出に易からしめ、餘白を爲し、其に就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す

但し名譽院長出診は每偶數日(丁日)午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目
電話二四番

資本金 一千萬圓
積立金 五百十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御最負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城橫へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

御待合 紅葉

京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

韓國銀行

電話(長)一、三三一 本店用
電話(長)一、二六〇 當直用
電話一、二〇 度係用
電話一、六三三 客用
電話一、一二 來用
電話三、三〇六 臨時建築部用

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣、
爲替取引先
東京、大阪、橫濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、(以上日本)釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、事邊、(以上韓國)大連、(淸國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

京城明治町二丁目(佛國敎會前)
辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

大上商店

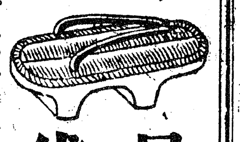
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
和洋酒、醬油、酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣御望に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

温泉湯

きゝめのある
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

時節柄數物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

東京足袋



本店東京
京城大和町二丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

滋養 牛乳 平山牧場

京城大和町一丁目
電話 二三二

大坂 荒物世帶道具一切
製白紋油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇電略(ニカ又はニ)
振替貯金口座東京(九四一七番)

株式會社 十八銀行京城支店

京城南大門通
(電話四二〇)
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金(一口壹錢以上何程にても御預り申候)
(利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、兵庫、神戶、平野、堺、岸和田、御影、山、八木、高田、田原本、住吉、茨木、下市
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松坂
東山道 岐阜、大垣、長濱、彥根、八幡、大津、宇都宮、福島、松、前橋、伊勢崎、秋田、能代、
北陸道 小濱、福井、敦賀、金澤、高岡、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、福知山、鳥取、米子、境、松江、今市、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、下關、萩、德山、小郡、長府、平生
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、御坊、撫養、德島、高松、丸龜、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 久留米、若津、飯塚、博多、福岡、門司、行橋、後藤寺、中津、小倉、伊萬里、佐賀、佐伯、別府、大分、宮崎、鹿兒島、八幡、長崎、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
(仁川)電話十番

仁川海岸通
電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行
山東丸 二月十一日後三時出
●大連行
相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行
山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行
酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行
立神丸 一月廿六日午後時出

御注意
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事